

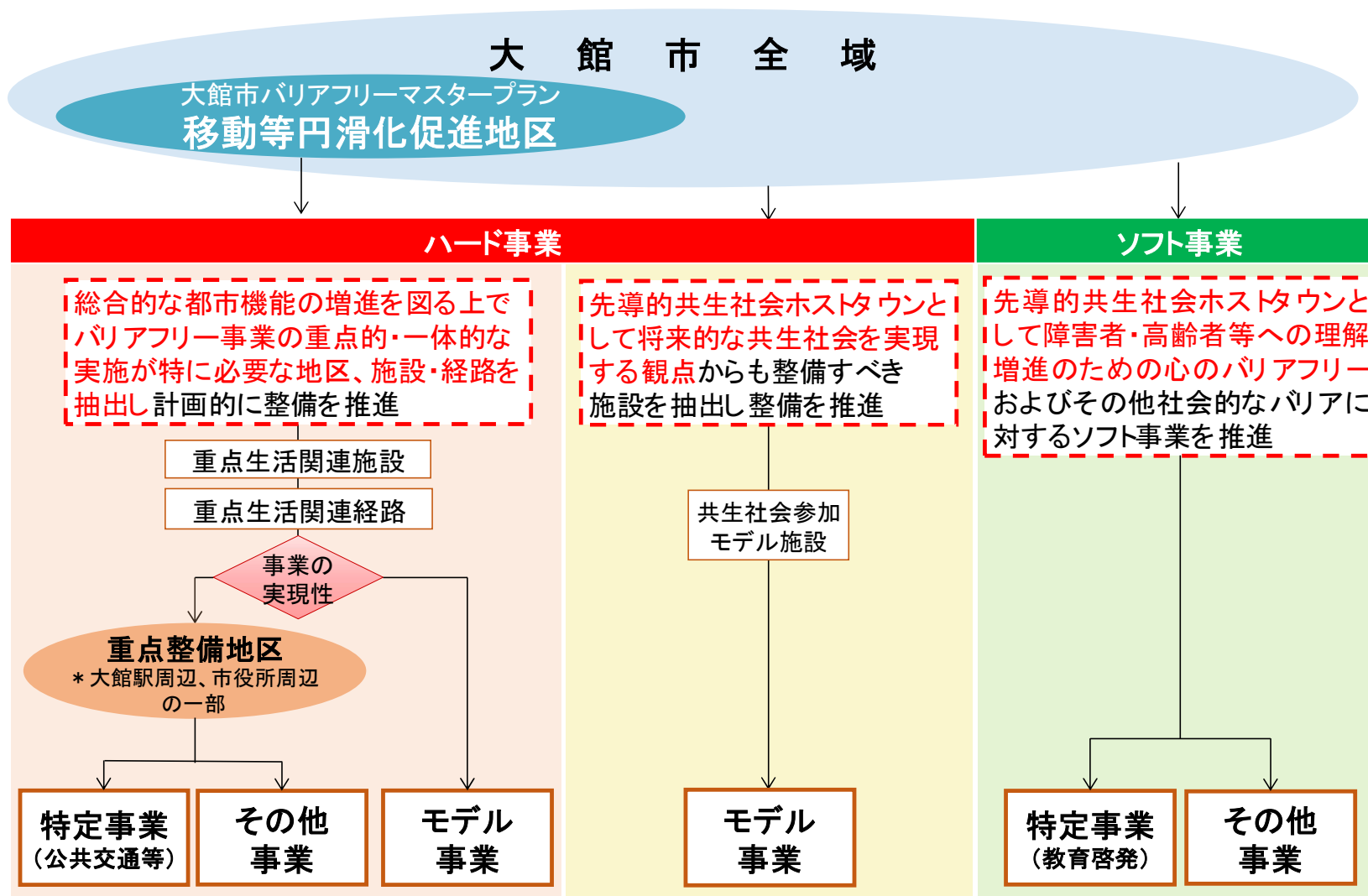
第9回 大館市バリアフリーまちづくり
推進協議会 説明資料

1. 特定事業計画について ……(資料1)(資料2)
2. 共生社会参加モデル施設のモデル事業について ……(資料1)
3. バリアフリーに関する取り組みについて
 - ①大館駅の新設工事の開始 ……(資料1)
 - ②バリアフリーに関する主な取り組み(福祉課) ……(資料1)
 - ③障害者スポーツ「ボッチャ」の交流イベントの開催(スポーツ振興課) ……(資料1)
 - ④大館mobiプロジェクトについて ……(資料3)
 - ⑤大館市まちなか店舗等バリアフリー改修促進事業(案)について ……(資料4)
 - ⑥景観計画について ……(資料1)
 - ⑦その他 ……(資料1)
4. その他
 - 大館市の公共施設調査及び提案 ……(資料5)

1. 特定事業計画について

2

令和3年度策定 バリアフリー基本構想について



1. 特定事業計画について

4

■公共交通特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
駅舎のバリアフリー整備	JR大館駅	東日本旅客鉄道(株)	○			

■道路特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
歩行空間の改善	大館駅東大館線	大館市土木課	協議 検討			
	【御成1丁目～清水1丁目】					
歩行空間の改善	大館駅東大館線	大館市土木課	協議検討			
	【中道1丁目～豊町】					

■交通安全特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
道路環境の改善	市内	公安委員会(大館警察署)				○

■教育啓発特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
駅員・乗務員のバリアフリー教育の推進	社員	東日本旅客鉄道(株)				○
バリアフリー教室の開催	市内小学校	大館市学校教育課				○
障害者差別解消のための普及啓発活動の実施	市内	大館市福祉課				○
朗読ボランティア・手話点訳者等の普及啓発	市内	大館市福祉課				○
障害者スポーツを通じた障害者への理解増進と障害者の社会参加の促進	市内	大館市スポーツ振興課				○

1. 特定事業計画について

5

今後の進捗管理について

事業計画名	公共交通特定事業計画	対象施設	大館駅	事業者	東日本旅客鉄道株式会社
-------	------------	------	-----	-----	-------------

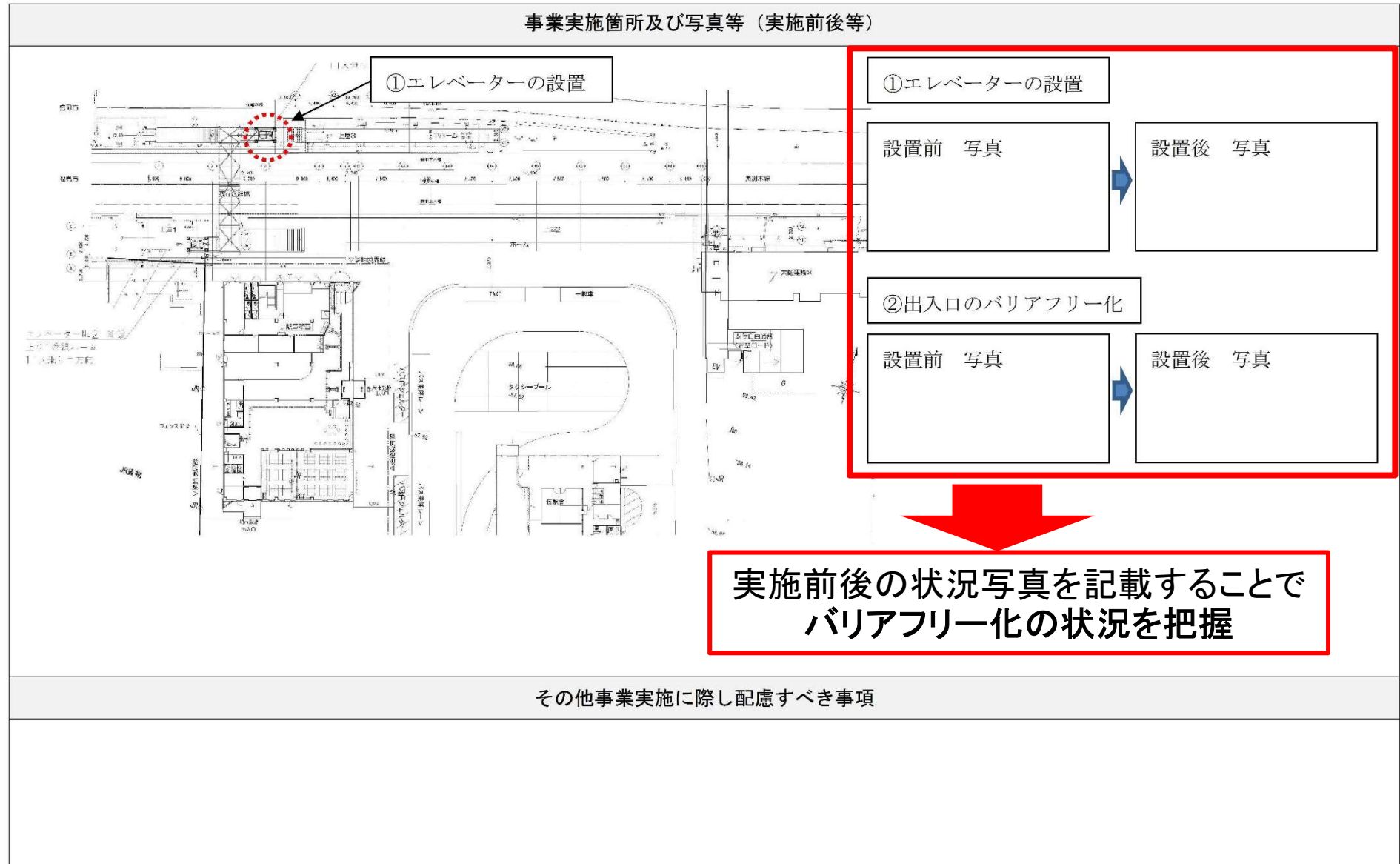
特定事業					特定事業計画				
番号	事業内容	目標時期			事業費 (千円)	具体的な実施期間		特記事項 (実施に向けた課題・現在の状況等)	進捗率 (%)
		短期 (R4-R8)	中期 (R9-R13)	長期 (R14-R18)		着手	完了		
①	乗換跨線橋にエレベーターの設置	○			304,430	R4.4	R5.7		
②	出入口のバリアフリー化	○			8,000	R4.4	R5.7	駅前広場との勾配の調整が必要となる	80
③	経路のバリアフリー化	○			25,000	R4.4	R5.7		
④	運行案内のバリアフリー化	○			6,000	R4.4	R5.7	○箇所設置中	50
⑤	トイレのバリアフリー化	○			30,000	R4.4	R5.7	完了	100
⑥	案内版のバリアフリー化	○			2,500	R4.4	R5.7		
⑦	通路のバリアフリー化を図る	○			20,000				
⑧	乗車券等販売所のバリアフリー化を図る	○			8,000	R4.4	R5.7		
⑨	販売機のバリアフリー化を図る	○			7,000	R4.4	R5.7		
⑩	視覚障害者誘導用ブロックを構内に敷設する	○			2,000	R4.4	R5.7		
⑪	プラットフォーム等のバリアフリー化を図る	○			10,000	R4.4	R5.7		

実施時期や取組内容、進捗率を記載

1. 特定事業計画について

6

今後の進捗管理について

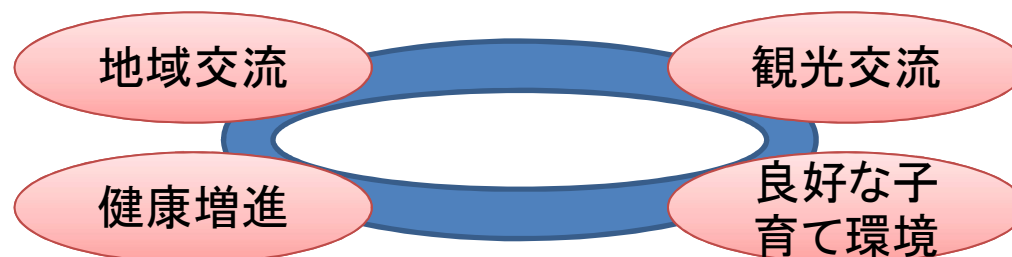


2. 共生社会参加モデル施設について

7

共生社会参加モデル施設

先導的共生社会ホストタウンとして、共生社会実現のために、高齢者、障害者及び妊婦等の社会参加の促進に特に重要な施設を「地域交流の促進」、「観光交流の促進」、「子育てしやすい環境づくり」、「健康増進」の観点から抽出しました。



モデル事業

共生社会実現のために社会参加しやすい環境づくりを推進していくための共生社会参加モデル施設等のバリアフリー化の検討事業

地域交流

市民文化会館

市立中央公民館

北地区コミュニティセンター

市立田代公民館

観光交流

秋田犬の里

石田ローズガーデン

道の駅ひない

良好な子育て環境

桂城公園

二ツ山総合公園

扇田ふれあい公園

大館樹海ドームパーク
(パークセンター)

市民交流センター

市立栗盛記念図書館

健康増進

樹海体育館

大館樹海ドームパーク
(大館樹海ドーム)

長根山運動公園

高館公園

田代スポーツ公園

達子森公園

花岡総合スポーツ公園

2. 共生社会参加モデル施設について

8

共生社会参加モデルのモデル事業一覧

種類	共生社会参加モデル施設	事業者	モデル事業
地域交流	市民文化会館	教育総務課	障害者用駐車区画の整備 点字案内表示の設置
	市民中央公民館	中央公民館	
	北地区コミュニティセンター		
	市立田代公民館		
観光交流	秋田犬の里	観光課	点字案内表示の設置
	石田ローズガーデン		
	道の駅ひない	比内総合支所	
良好な子育て環境	桂城公園	都市計画課	障害者用駐車区画の整備 車いす用トイレの整備 トイレまでの経路のバリアフリー化
	二ツ山総合公園	スポーツ振興課	
	扇田ふれあい公園		
	大館樹海ドームパーク(パークセンター)	子ども課	
	市民交流センター	中央公民館	
	市立栗盛記念図書館	生涯学習課	
健康増進	樹海体育館	スポーツ振興課	障害者用駐車区画の整備 車いす用トイレの整備
	大館樹海ドームパーク(大館樹海ドーム)		
	長根山運動公園		
	高館公園		
	田代スポーツ公園		
	達子森公園		
	花岡総合スポーツ公園		

2. 共生社会参加モデル施設について

9

共生社会参加モデル施設のバリアフリー化整備検討状況について

■地域交流拠点のバリアフリー化

対象施設	事業者	障害者用駐車区画の整備	点字案内表示の設置	その他検討事項
市民文化会館	生涯学習課	整備済み (中央公民館と共用)	未定	・舞台への階段の手摺設置(R5) ・エレベータ設置 ・車いす専用駐車場整備 ※中央公民館側にもあるが、文化会館側に要望あり ・誘導案内設備の整備(点字案内表示・点字ブロック)
市立中央公民館	中央公民館	屋根付き5台分あり	未定(別館に点字ブロックあり)	玄関前階段に手摺取付検討中
北地区コミュニティセンター		1台分あり	未定	未定
市立田代公民館		1台分あり	未定	大規模改修時に検討する

■子育て世帯の利用する施設のバリアフリー化

対象施設	事業者	障害者用駐車区画の整備	車いす用トイレの整備	トイレまでの経路バリアフリー化	その他検討事項
桂城公園	都市計画課	整備予定(本庁舎と共用)	桂城公園修景整備と併せて検討予定	桂城公園修景整備と併せて検討予定	未定
二ツ山総合公園	スポーツ振興課	整備済み	整備済み	未定	未定
扇田ふれあい公園		未定	未定	未定	未定
大館樹海ドームパーク (パークセンター)	子ども課	R5実施予定 (R5当初予算要求額7,689千円)	1か所設置済	通路に手すり設置済	未定
市民交流センター	中央公民館	未定	未定	未定	玄関前階段に手摺取付(R5当初予算236千円)
市立栗盛記念図書館	生涯学習課	整備済	整備済	多目的室側にみんなのトイレがあり経路は、バリアフリー化の整備済	・一般用エレベータの設置要望が多数あり、課題となっている。予算化未定 ・誘導案内設備の整備(点字ブロック)

■観光交流拠点のバリアフリー化

対象施設	事業者	点字案内表示の設置	その他検討事項
秋田犬の里	観光課	未定	未定
石田ローズガーデン		未定	未定
道の駅ひない	比内総合支所	今後検討	今後検討

2. 共生社会参加モデル施設について

10

共生社会参加モデル施設のバリアフリー化整備検討状況について

■健康増進のための施設のバリアフリー化

対象施設	事業者	障害者用駐車区画の整備	車いす用トイレの整備	その他検討事項
樹海体育館	スポーツ振興課	整備済み	整備済み	未定
大館樹海ドームパーク (大館樹海ドーム)		整備済み	整備済み	未定
長根山運動公園		未定	整備済み	未定
高館公園		整備済み	整備済み	未定
田代スポーツ公園		整備済み	整備済み	未定
達子森公園		未定	整備済み	未定

■冬のバリアフリー化の取り組み

対象施設	事業者	優先的な除排雪、横断歩道の見通しの確保等について、より重点的な実施を推進する	その他検討事項
重点生活関連経路	道路管理者	幹線市道及び通学路において実施中	横断歩道出入り口の除雪

その他各所管施設のバリアフリー化整備検討状況について

その他各所管施設のバリアフリー化の取り組み

対象施設	事業者	その他検討事項	
市立総合病院	市立総合病院総務課	未定	※障害者用駐車区域、車いすトイレ等整備済
市立扇田病院	市立扇田病院	未定	※今後の方向性が決まり次第検討していく予定

3. バリアフリーに関する取り組みについて ①

11

①大館駅の新設工事の開始

令和5年2月3日時点

事業計画名	公共交通特定事業計画	対象施設	大館駅	事業者	東日本旅客鉄道株式会社
-------	------------	------	-----	-----	-------------

特定事業					特定事業計画				
番号	事業内容	目標時期			事業費 (千円)	具体的な実施期間		特記事項 (実施に向けた課題・現在の状況等)	進捗率 (%)
		短期 (R4-R8)	中期 (R9-R13)	長期 (R14-R18)		着手	完了		
①	乗換跨線橋にエレベーターの設置	○			304,430	R4.7	R5.10		10
②	出入口のバリアフリー化	○			8,000	R4.7	R5.10	駅前広場との勾配の調整が必要となる	10
③	経路のバリアフリー化	○			25,000	R4.7	R5.10		10
④	運行案内のバリアフリー化	○			6,000	R4.7	R5.10		10
⑤	トイレのバリアフリー化	○			30,000	R4.7	R5.10		10
⑥	案内版のバリアフリー化	○			2,500	R4.7	R5.10		10
⑦	通路のバリアフリー化を図る	○			20,000	R4.7	R5.10		10
⑧	乗車券等販売所のバリアフリー化を図る	○			8,000	R4.7	R5.10		10
⑨	販売機のバリアフリー化を図る	○			7,000	R4.7	R5.10		10
⑩	視覚障害者誘導用ブロックを構内に敷設する	○			2,000	R4.7	R5.10		10
⑪	プラットホーム等のバリアフリー化を図る	○			10,000	R4.7	R5.10		10

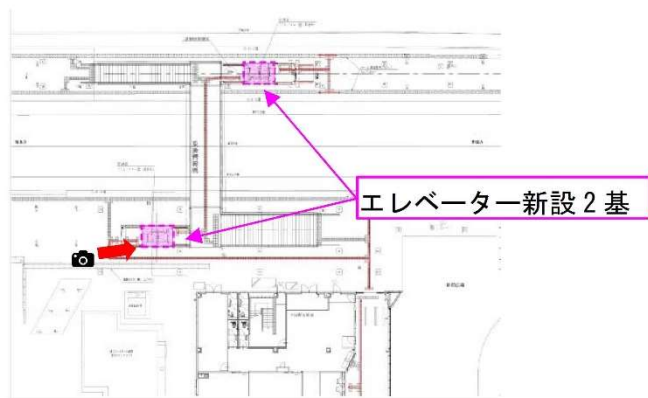
3. バリアフリーに関する取り組みについて ①

12

①大館駅の新設工事の開始

事業実施箇所及び写真等（実施前後等）

①乗換跨線橋にエレベーターの設置

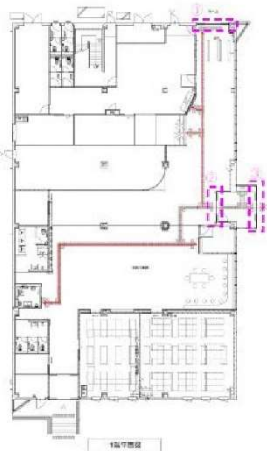


📷：現在の写真



②出入口のバリアフリー化

出入口：自動ドア、幅 90cm 以上



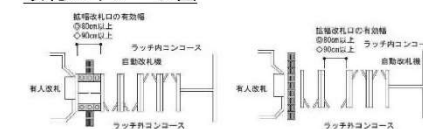
③経路のバリアフリー化

経路：移動円滑化経路の設置、誘導・警告ブロック敷設

改札口：幅 80cm 以上、自動改札機設置



改札口イメージ図



注：改札口における視覚障害者誘導用ブロックは、図面の一例を示したものである。

参考写真：大館駅仮駅舎



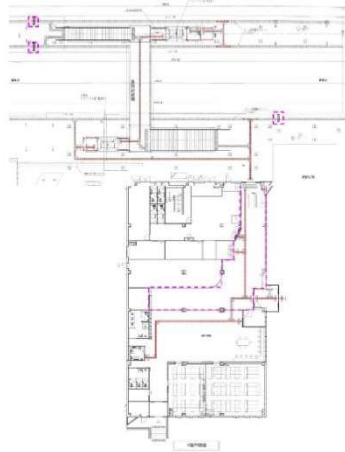
3. バリアフリーに関する取り組みについて ①

13

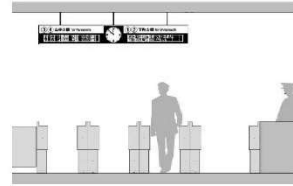
①大館駅の新設工事の開始

④運行案内のバリアフリー化

運行情報提供設備



イメージ図

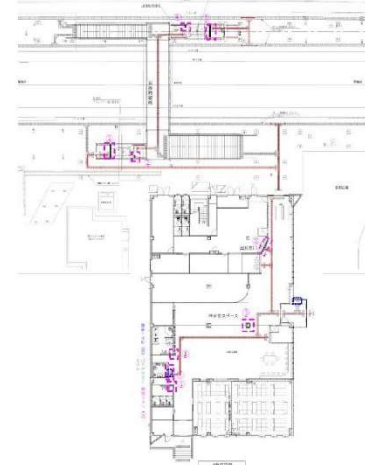


参考写真：大館駅仮駅舎



⑥案内版のバリアフリー化

案内サイン設置：トイレ、窓口、経路の触知案内版、ピクトサイン設置



参考写真：大館駅仮駅舎



⑤トイレのバリアフリー化

トイレ：滑りにくい仕上げ、バリアフリースイートの設置



参考写真：男鹿駅舎



⑦通路のバリアフリー化

通路：滑りにくい仕上げ

休憩設備：待合ベンチ設置



参考写真：大館駅旧駅舎



3. バリアフリーに関する取り組みについて ①

14

①大館駅の新設工事の開始

⑧乗車券等発売所のバリアフリー化

移動等円滑化された経路と乗車券等販売所との間の経路の
バリアフリー化

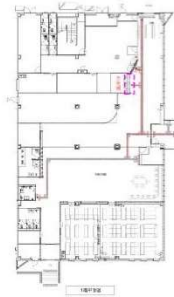


参考写真：大館駅仮駅舎



⑨販売機のバリアフリー化

販売機：蹴込設置

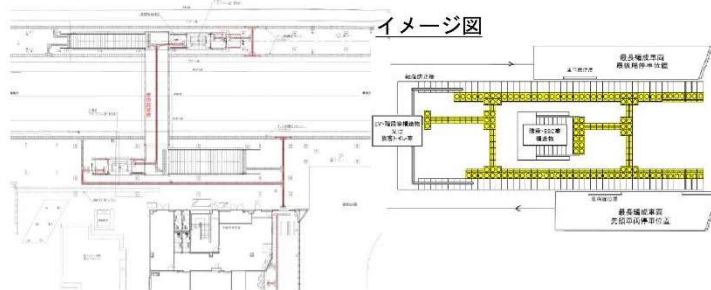


参考写真：大館駅仮駅舎



⑩点字ブロックの敷設

移動円滑化経路：誘導・警告ブロック敷設
プラットフォーム：内方線付点状ブロック敷設

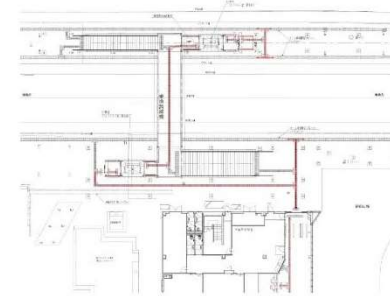


写真：大館駅ホーム



⑪プラットフォーム等のバリアフリー化

排水勾配1%標準
滑りにくい仕上げ



3. バリアフリーに関する取り組みについて ①

15

①大館駅の新設工事の開始

□令和5年2月現在の状況

駅舎基礎打設完了



特記事項（実施に向けた課題・現在の状況等）

駅舎整備完了と前後して、駅前広場整備が実施されるため勾配調整が必要となる（調整中）

②バリアフリーに関する主な取り組み(福祉課)

- 1 バリアフリーマップの作成(令和2年度)
- 2 うちわタイプのバリアフリーマップの作成
(令和3・4年度)
- 3 声の広報の配布
- 4 手話通訳を議会(行政報告)で実施

3. バリアフリーに関する取り組みについて ②

17

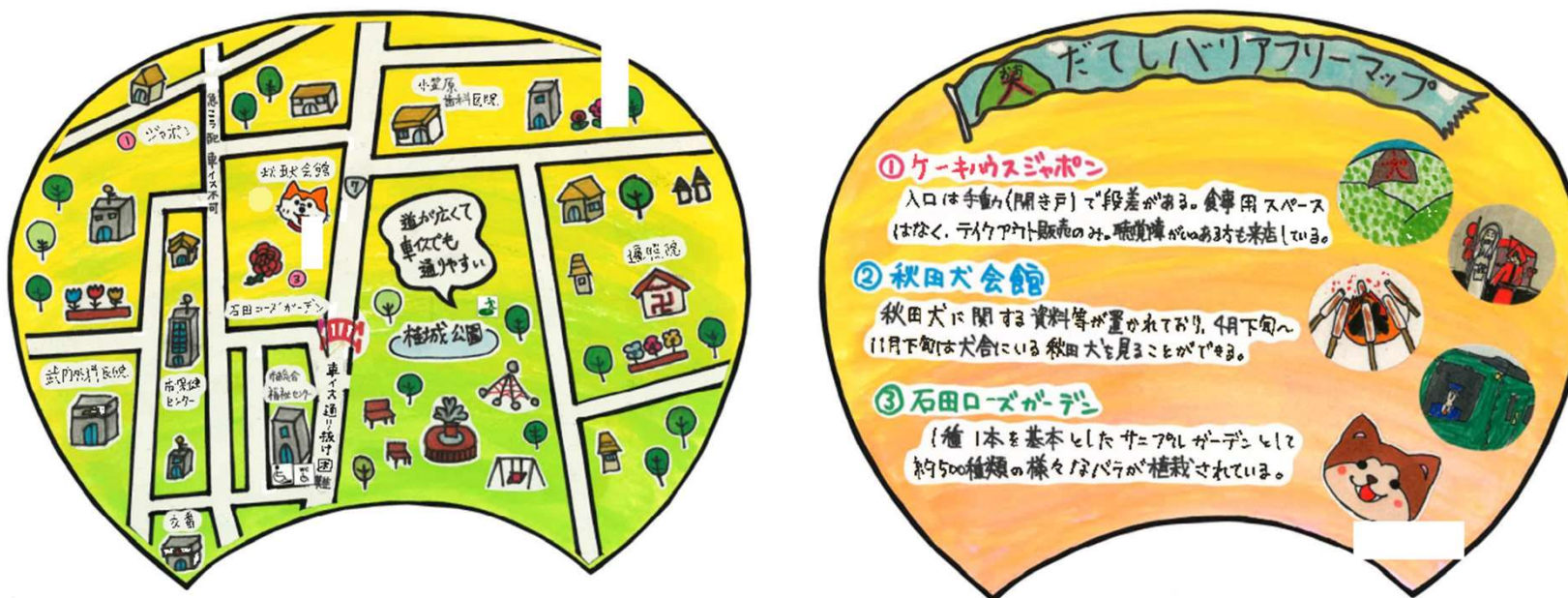
1 バリアフリーマップの作成(令和2年度)



市役所周辺図に写真入りでバリアフリー対応施設を記号等で表示

障害者団体とまち歩き点検をして、東京オリンピックの聖火リレーコース周辺のマップを作成

2 うちわタイプのバリアフリーマップの作成(令和3・4年度)



- 市役所周辺を4つの地区に分けてまち歩き点検を実施し、うちわタイプのバリアフリーマップを作成した。市内高校にイラスト地図の作成を依頼。表面には**地図**、裏面には**施設や店舗情報**を掲載している。

バリアフリーマップの展示(本庁舎)

うちわ型のマップは1,800枚作成し、市役所本庁舎や圏域産業祭、障がいに関するイベント等で周知、配布した。



3. バリアフリーに関する取り組みについて ②

20

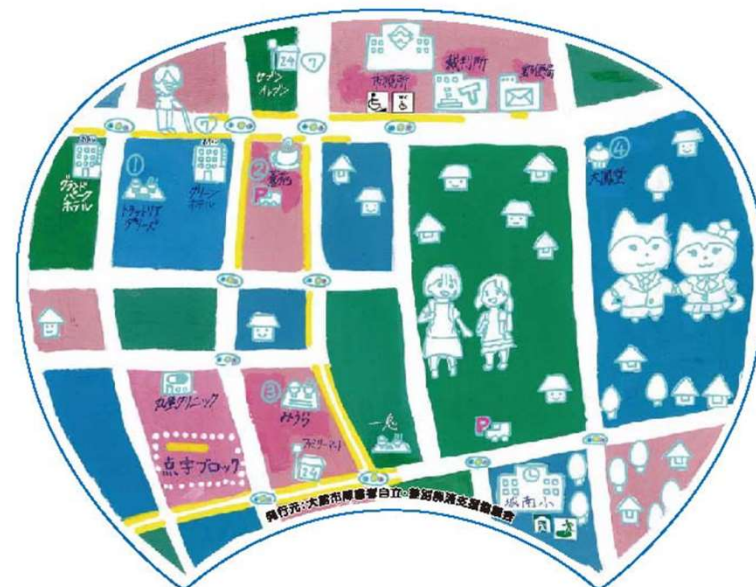
比内支援学校高等部 感謝状贈呈



3. バリアフリーに関する取り組みについて ②

21

大館国際情報学院高等学校 感謝状贈呈



3. バリアフリーに関する取り組みについて ②

22

大館桂桜高等学校 感謝状贈呈



3 声の広報の配布

- 視覚障害者への広報内容の周知を図るため、**声**の広報を作成し、配布している。
- 作成は市内の朗読ボランティア「麦の会」にご協力いただいている。
- 市内**15世帯**に配布している。
(R4年3月現在)



4 手話通訳を議会（行政報告）で実施

「大館市手話言語の普及及びコミュニケーション手段の促進に関する条例」に基づく取り組みとして、12月議会初日の本会議で市長の行政報告について手話通訳を実施し、聴覚障害のある方にも市政情報を発信した。

- その他手話言語の普及事業

- I) 手話奉仕員養成講座を開催（入門過程・基礎課程を隔年で開催）

- 入門過程：受講者16名・修了者14名（R3年度実績）

- II) コミュニケーション支援者の派遣

- 手話通訳者の派遣（R2年度：28件、R3年度：58件）



③障害者スポーツ「ボッチャ」の交流イベントの開催(スポーツ振興課)

○ボッチャ競技を通じた障害者への理解促進、共生社会のまちづくりの理解を深めるため、ボッチャ交流大会「はちくんオープン」を開催

取り組み概要

- ・市内外から24チーム、100名が参加
- ・タイ王国ナショナルチーム、日本代表、渋谷区チームを招致
- ・タイ代表と日本代表とのエキシビションマッチを実施



⑥景観計画について

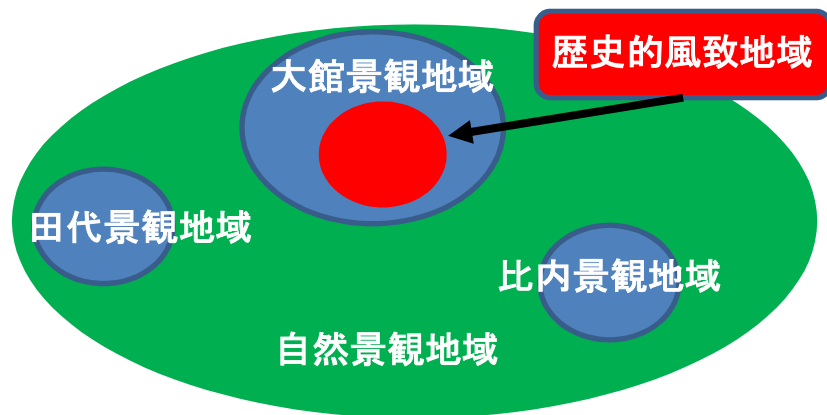
1. 目的

歴史的風致維持向上計画、バリアフリー基本構想などと一体的に運用し、比内・田代地域の保全を見据えた景観計画の策定

- ①第1期歴史的風致維持向上計画で形成された風景や、歴史・文化・人々の営みを醸し出す風土を守り育む。
- ②第2期歴史的風致維持向上計画において比内地域や田代地域を設定、推進し、市全体の意識醸成を図る。
- ③景観重要建造物の指定方針を示すことで歴史的風致維持向上計画で保護されていない比内地域や田代地域等の歴史的な建造物に対しても景観保護の方向性を示す。

2. 景観計画区域(大館市全域)

景観特性に応じた重点区域等の設定



景観計画区域の設定イメージ図

3. 第1期歴史的風致維持向上計画に基づき形成された景観



大館神明社周辺環境整備事業

3. バリアフリーに関する取り組みについて ⑥

27

4. 比内・田代地域の歴史的な建造物



【比内】麓家住宅



【田代】大巻神社

5. 補助金について

景観計画策定に関する補助金(景観改善推進事業)

【策定後】景観の保護に関する補助金(街なみ環境整備事業)

電線地中化に要する費用の1/2

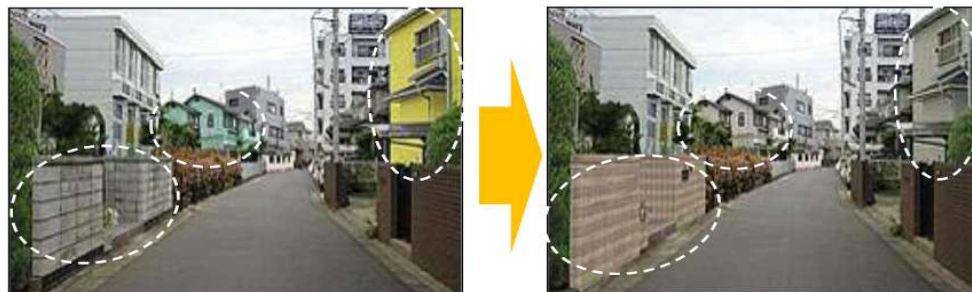
景観重要建造物の整備(修理・買取・移設)に要する費用の1/3

【策定後】景観の是正に関する補助金(景観改善推進事業)

景観規制上既存不適格建築物等を是正する費用の1/3



電線地中化による景観改善(イメージ)



景観規制により既存不適格になった建築物等の
是正措置(イメージ)

⑦その他

○大館市バリアフリーまちづくり計画の周知

- ・ 子どもサミットでの講演 7/26開催
- ・ 伊勢市共生社会バリアフリーシンポジウムでの市長講演 9/4開催
- ・ 東北大学公共政策大学院との公共政策ワークショップ 6/4開催
- ・ 秋田大学や職業能力開発短期大学などへの講演

大館市子どもサミット 7/26開催

小中学生が「私たちのふるさと大館をよりよいまちに」という思いをもち、「自分たち子どもたちにできること」を進んで考え、市内全ての小中学校で実践しています。その核となるのが「大館子どもサミット」です。

- 7/26開催の大館子どもサミットにて
- ・ペットボトルキャップ、こでん回収について
 - ・大館市バリアフリーまちづくりについて
- 講演しています。



3. バリアフリーに関する取り組みについて ⑦

30

伊勢市共生社会バリアフリーシンポジウムでの市長講演 9/4開催

令和4年 共生社会 バリアフリー シンポジウム



参加無料



令和4年

日時 **9月4日**
13:00~16:45



会場 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
(三重県伊勢市岩渕1丁目13-15)

事前申込制

現地参加:先着500名

東京2020年大会でのパラリンピアンとの交流をきっかけに、障がいの有無に関わらず誰もが暮らしやすい「共生社会」の実現に向けた取組を実施する自治体を「共生社会ホストタウン」といいます。同大会終了後も、共生社会ホストタウンを中心に、各地でユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーに関する取組が進められています。

この度、全国の自治体や一般の方々向けに各地の取組を共有・発信するとともに、様々な目録で、バリアフリー施策の現状と今後について意見を交わし、共生社会実現に向けた手がかりを探るため「共生社会バリアフリーシンポジウムin伊勢」を開催します。

シンポジウムの主な内容

- 1 基調講演
日本パラリンピック委員会 河合純一 委員長
- 2 共生社会実現に向けたホストタウンによる取組発表
三重県伊勢市 鈴木健一 市長、大阪府大東市 東坂浩一 市長、秋田県大館市 福原淳嗣 市長
- 3 全盲のシンガー&ピアニスト、本下航志の沁みるミニ・コンサート
- 4 パネルディスカッション、参加者とのQAセッション
＜コーディネーター＞
中部大学工学部 機部友彦 教授(移動等円滑化評価会議中部分会長)
＜パネリスト＞
伊勢志摩バリアフリーアセスメント 中村元 理事長
伊勢市社会福祉協議会 宮崎吉博 会長
UDほっとねっと 伊藤順子 理事長
近畿日本鉄道 安東隆昭 取締役常務執行役員
日本パラリンピック委員会 河合委員長
三重県伊勢市 鈴木市長、大阪府大東市 東坂市長、秋田県大館市 福原市長
国土交通省

オンライン配信あり

手話通訳あり
要約筆記あり

お申込みは
こちらから



主催 共生社会ホストタウン連絡協議会
(三重県伊勢市、国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団等)

平和を希求する東北の地 秋田県「大館市」の取り組み紹介



2019年9月 タイ王国 パラリンピック 陸上競技・ボッチャチームの大館合宿にて

○令和4年度 共生社会バリアフリーシンポジウム in 伊勢 ○大館市長 福原淳嗣(ふくはら じゅんじ)

1

令和4年 共生社会バリアフリーシンポジウム in 伊勢

主催：共生社会ホストタウン連絡協議会



東北大学公共政策大学院 公共政策ワークショップ 6/4開催

テーマ

パラリンピックのレガシーとしての
ダイバーシティ&インクルージョン都市の形成に向けた研究
(ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリーを目指して)

共生社会の実現に向けた大館のこれまでの取り組みと課題	
①総務部 企画調整課	市の概要
②総務部 職員課	20年後の大館市役所のあるべき姿と方向性を探るワーキンググループ
③市長	市長講話
④観光交流スポーツ部 スポーツ振興課	・共生社会ホストタウン ・タイとの交流 ・パラスポーツの普及
⑤福祉部 福祉課	・差別解消や合理的配慮の取組 ・手話点字促進等 ・バリアフリー点検及びマップ作製 ・地域福祉計画 ・障害者福祉計画 ・社協の取組等
⑥建設部 都市計画課	・バリアフリーマスタープラン及び基本構想 ・住生活基本計画
⑦観光交流スポーツ部 観光課	・ユニバーサルツーリズム ・外国人対応等
⑧教育委員会 学校教育課	学校教育における心のバリアフリー教育等

3. バリアフリーに関する取り組みについて ⑦

32

東北大学公共政策大学院 公共政策ワークショップ 6/4開催



▲東北大学公共政策大学院 御手洗教授・生徒



▲ボッチャ体験会(石田ローズガーデン)



▲公共政策ワークショップ 市長講話



▲公共政策ワークショップ バリアフリー説明

3. バリアフリーに関する取り組みについて ⑦

33

公共政策ワークショップ報告会 大館市への提言内容

24提言

UD（ユニバーサルデザイン）のまちづくり

- ①BF化事業推進システムの形成
- ②ゼロ段差ブロックの設置
- ③スリット入り点字ブロックの設置
- ④歩行空間のバリアフリー状況報告システム
- ⑤障害者等用駐車区画の塗装やシートの貼り付け
- ⑥市役所の駐車場および庁舎までの経路に関するUD化
- ⑦誰もが楽しめるインクルーシブな遊具の設置
- ⑧UDタクシーの導入
- ⑨BF情報発信アプリに市内のBF情報を提供
- ⑩Web版の「大館市バリアフリーマップ」を作成
- ⑪公共施設への簡易スロープの常備
- ⑫やさしい日本語とピクトグラム、CUDによる案内表示



※上記参考写真引用

3. バリアフリーに関する取り組みについて ⑦

34

公共政策ワークショップ報告会 大館市への提言内容

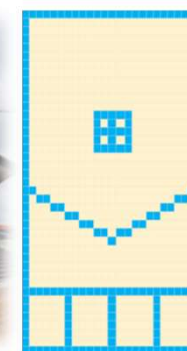
心のバリアフリー

- ⑬福祉体験学習の充実
- ⑭正課ボッチャクラブ
- ⑮障がい者サポーター養成講座のブラッシュアップ
- ⑯D&I推進パートナー制度の創設
- ⑰グループミーティングの開催
- ⑱多文化共生意識調整



交流の機会の創出

- ⑲公共空間ボッチャ委員会の創設
- ⑳既存イベントと抱き合わせた形での体験会の開催
- ㉑観光施設「秋田犬の里」へのボッチャコートの常設
- ㉒異文化理解のための交流イベントの実施
- ㉓商業施設での福祉啓発イベントの開催及び福祉まるごと相談室の設置
- ㉔クワイエットアワーの実施



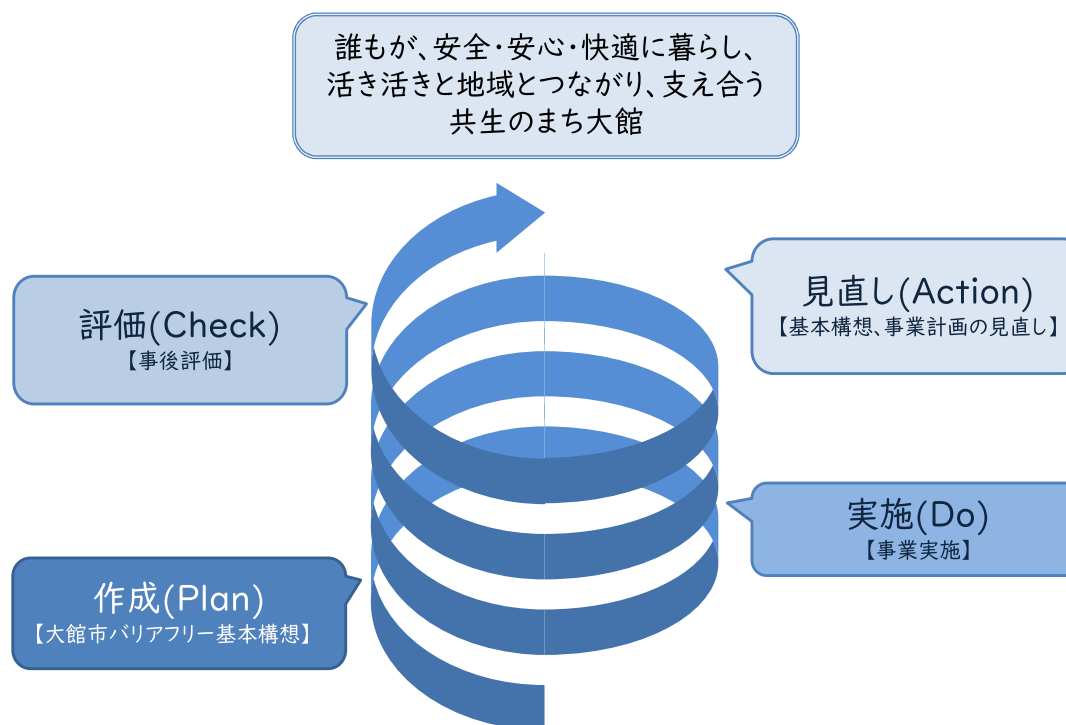
※上記参考写真引用

3. 今後のスケジュール

31

基本構想の策定後も下記のPDCAサイクルにより事業スケジュールの適切な管理と改善を図ることで、バリアフリー化を推進する。

- 基本構想策定後も継続的に「大館市バリアフリーまちづくり推進協議会」を開催し、取り組みの進捗管理や課題の洗い出し等の状況の共有と課題に対する改善案の検討を行う。
- 上位関連計画や関連するまちづくり事業の状況を踏まえ、必要に応じて基本構想の見直しを行う。
- 基本構想作成時に設置した協議会を進行管理を担う中心的な組織として位置づけ、特定事業計画で策定されたスケジュールと実際の進捗状況及び新たなバリアフリーの課題について把握し、整備促進のための管理を行う(年1～2回を予定)。
- 計画の最終年(5年目)には、特定事業等の実施により利便性が向上したかを評価するとともに、新たなニーズと課題の確認を行う事後評価を実施する。



3. 今後のスケジュール

32

